

機能毎の病床の状況について

病院名:医療法人 田北会 田北病院 医療圏:西和

※H28年度の列は、別紙1－3「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R7年度、R8年度(2026年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

			(a) ＜H28年度＞ 許可病床数	＜R7年度＞ 許可病床数	うち、最大使用 病床数 (注1)		(単位:床)	
						(b) 将来 (R8/2026年度) 病床数	(b-a) H28年度からの 増減 (自動計算)	
一般 病床・ 療養 病床	高度急性期		0床	0床		→	0床	0床
	急性期	重症	46床	46床	46床		46床	0床
		軽症	46床	46床	46床		46床	0床
	回復期		118床	118床	118床		118床	0床
	慢性期		0床	0床			0床	0床
	休棟中 (今後再開する予定)			0床			0床	0床
	休棟中 (今後廃止する予定)			0床			0床	0床
	(合計)(自動計算)		210床	210床	210床		210床	0床
精神病床			0床	0床		0床	0床	
結核病床			0床	0床		0床	0床	
感染症病床			0床	0床		0床	0床	
介護医療院				0床		0床	0床	

※ 用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1)最大使用病床数
・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：社会医療法人田北会 田北病院

医療圏：西和

2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

（1）これまでの地域医療構想や昨今の受領動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

当院は、在宅療養中の患者、介護施設利用者および地域住民に対し、身近で安心できる医療の提供を行う。

病診連携および病病連携を一層強化し、患者にとって切れ目のない医療提供体制の構築に努める。

【救急患者の受け入れ】

救急医療においては、一次救急および二次救急の受入機能を担う。とりわけ医療提供体制が手薄となる土曜日・日曜日・祝日においては、内科系・外科系の二科体制の確保に努めるとともに、救急隊からの受入要請に対する応需率の向上および受入時間の短縮を図り、地域救急医療体制の安定化に貢献する。

【透析医療の提供】

平成19年より大和郡山市内の患者を中心に透析医療を提供してきた。

今後も地域における慢性腎不全患者の受け皿としての役割を継続的に担い、安全かつ質の高い透析医療の提供に努める。

【回復期機能の提供】

回復期リハビリテーション病棟において、脳血管疾患リハビリテーションおよび運動器リハビリテーションを中心に提供する。

多職種連携のもと、患者一人ひとりの状態に応じた手厚いリハビリテーションを実施し、在宅復帰の促進および生活機能の向上を目指す。

(2) 今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

在宅療養中の患者や介護施設入所者に対し、急性増悪時の受け入れや緊急入院への迅速な対応を行うとともに、退院後も安心して療養を継続できるよう、地域の診療所、訪問診療医、訪問看護ステーション、介護支援専門員等との多職種連携を推進し、入退院時の情報共有や連携体制の強化を図る。必要に応じて、退院支援・地域連携機能の充実を進め、在宅復帰支援の質の向上を目指す。

さらに、回復期リハビリテーション病棟の機能を活用し、在宅復帰を見据えたりリハビリテーションの提供や、在宅生活に必要な医療・介護サービスへの円滑な移行を支援する。

今後も、地域の在宅医療を担う関係機関との連携を深め、在宅療養を支える医療基盤の一翼を担う病院として、体制整備および機能強化に継続的に取り組んでいく。

(3) 今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

在宅療養中の患者や介護施設入所者に対し、急性増悪時の受け入れや緊急入院への迅速な対応体制を維持・強化するとともに、救急医療機能と連動した柔軟な病床運用により、地域の在宅医療提供体制を支援する。

また、地域の診療所、訪問診療医、訪問看護ステーション、介護支援専門員等との多職種連携を一層推進し、入退院時における情報共有や連携体制の整備を進める。退院支援においては、在宅復帰を見据えた支援を強化し、必要に応じて医療・介護サービスへの円滑な移行を図る。

さらに、回復期リハビリテーション病棟の機能を活用し、在宅生活を見据えたりリハビリテーションの提供に努めるとともに、患者・家族への支援を通じて、在宅療養の継続が可能となる体制づくりを推進する。

今後も、地域の在宅医療を担う関係機関との連携を深め、在宅医療需要の増加に対応できる医療提供体制の整備・充実に継続的に取り組んでいく。

(4) 今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

医療を取り巻く環境が厳しさを増す中、当院は将来にわたり安定した医療提供体制を維持するため、医療従事者の確保・定着と業務効率化による負担軽減を重要課題として位置付けている。

医療従事者の確保に向けては、働きやすい職場環境の整備や教育・研修体制の充実を図るとともに、多職種連携を推進し、各職種が専門性を発揮できる体制づくりに努める。

医療提供の維持・効率化に向けては、医療DXの推進を重要な柱とし、電子カルテをはじめとした医療情報システムの活用や業務のデジタル化を進める。あわせて、RPA等の導入を検討・推進し、定型的・反復的な事務作業の自動化を図ることで、医療従事者が本来業務に専念できる環境整備に取り組む。

また、タスクシフト・タスクシェアの推進により、医師の業務の一部を看護師、医師事務作業補助者、コメディカル職種へ適切に移行・分担する体制を整備し、業務負担の軽減と医療の質の維持・向上を両立させる。

今後も、医療DX、RPAの活用、タスクシフト・シェア等の取組を段階的に進め、持続可能な医療提供体制の構築と人材確保・定着に継続的に取り組んでいく。

3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[1-2]手術の実施

消化器

[1-3]化学療法の実施

実施している

[1-4]放射線治療の実施

実施していない

[1-5]拠点病院等の指定

指定されていない

[1-6]特記事項

—

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

実施していない

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

実施していない

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

実施している

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

実施していない

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

実施していない

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

実施していない

[2-8]大動脈瘤手術の実施

実施していない

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

実施していない

[2-10]特記事項

- ・2023年度より体制強化（医師増員）を行い、日中（土曜日、日曜日、祝日を除く）対応は強化された。
- ・外科手術については近隣医療機関と連携し対応している。
- ・心血管疾患等へのリハビリ対応に向け体制整備しており遅くとも次年度より開始予定としている。

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

実施していない

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

実施していない

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

対応している

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

実施している

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

実施している

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

実施している

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

実施している

[3-9]特記事項

- ・回復期リハビリテーション病棟を有しており、今後も可能な範囲で対応を継続していきたい。

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

受けている

[4-3]大腿骨骨折への対応

対応している

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]特記事項

地域の救急医療に対し、当院は引き続き積極的な受入体制の確保に取り組む。
土曜日・日曜日・祝日においては、内科系・外科系の二科体制を維持し、安定した救急対応を行っている。
また、市内救急隊との連携強化を図り、内科系救急においてはホットラインを導入し、円滑かつ迅速な受入れを実施している。外科系救急についても、今年度中のホットライン導入を予定しており、さらなる対応力の向上を目指す。
今後は、救急隊との「顔の見える関係」を一層強化することで、症例のマッチング精度向上および受入時間の短縮を図り、地域救急医療体制の充実に貢献していく。

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

有り

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

88

[5-4]訪問リハビリの実施

実施している

[5-5]通所リハビリの実施

実施していない

[5-6]今後の方向性

- ・入院リハビリについては、整形外科、脳神経外科、内科を中心に回復期リハビリテーション病棟を活かし対応していきたい。一般病棟、地域包括ケア病棟についても積極的に介入していく。
- ・通所リハビリについては、併設の介護老人保健施設にて実施している。
- ・訪問リハビリについては、現状維持とする。
- ・心臓疾患リハビリは次年度開始予定。

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

対応している

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

無し

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]特記事項

—

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

対応していない

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ない

[7-3]上記でありの場合、その名称

[7-4]特記事項

—

[8]ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めている

[8-2]特記事項

—

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[9-2]小児入院医療管理料の算定

—

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

—

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

—

[9-5]特記事項

—

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[10-2]分娩の取扱い

—

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

—

[10-4]特記事項

—

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-4]EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加

参加している

[11-5]特記事項

—

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

—

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けていない

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けている

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

該当する

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

該当しない

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

該当しない

[13-7]特記事項

—

[14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

—

[15]看護職員の研修機能

[15-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ない

[15-3]特記事項

—